

2018年3月23日

各位

〒937-0041 富山県魚津市吉島 829

株式会社シキノハイテック

代表取締役社長 浜田 満広

TEL 0765-22-3477

“国際宇宙ステーションと地上をつなぐ通信・制御装置を JAXA に納品”

～高度化が進む宇宙の実験に対応～

当社は、国際宇宙ステーションにある日本の実験棟「きぼう」(以下、「きぼう」)で使用される通信・制御装置(以下、本装置)を完成させ、国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構(以下、JAXA)に納品した。本装置は、現在「きぼう」で使用されているラップトップパソコンの機能を代替するもので、高速CPUを搭載しHDMI、LAN(GbE)、USB3.0等の複数の通信機能を有し、専用のアプリケーションソフトウェアを搭載することで、データの高速処理及び各種実験装置と地上をつなぐ通信に利用される。

本装置は、JAXAが使用している現行ラップトップパソコン(NASAからの支給品)と比較し、消費電力を30%削減した上でCPU性能を220%アップした。「きぼう」における装置開発特有の厳格な安全性はもちろんのこと、滞在する飛行士のストレス要因となる電子機器騒音を抑える高い静音性、厳しい環境試験要求や、小型で軽量、使いやすい装置に仕上げる要求に対し2年半をかけて開発を完了。現在は今後予定される打上げに対し、JAXAにて最終の確認、準備が進んでいる。

JAXAが「きぼう」で実施する実験は年々高度化が進み、重要性が増しており、本装置への期待も大きい。

浜田満広社長は「シキノハイテックの開発力を示すことができたことに加え、当社のものづくり力が宇宙科学の発展に寄与できることは嬉しい」と話している。



【イメージ図の説明文】

シキノハイテックの開発した「通信・制御装置」の同型機(サイズ:224mm×200mm×72mm)